



製品マニュアル更新情報

ビジネスプロジェクター

EB-PU2010B	EB-PU1007B
EB-PU2010W	EB-PU1007W
EB-PU1008B	
EB-PU1008W	

更新ファームウェアについて 3

ファームウェア Ver.1.05の概要	4
メニュー項目に関する変更 (Ver. 1.05)	4
投写距離表に関する変更 (Ver.1.05)	4
ファームウェア Ver. 1.07の概要	5
オプション品に関する変更 (Ver. 1.07)	5
ファームウェア Ver.2.00の概要	6
ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.00)	6
メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)	6
操作方法に関する変更 (Ver.2.00)	6
ファームウェア Ver.2.50の概要	7
ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.50)	7
操作方法に関する変更 (Ver.2.50)	7
ファームウェア Ver. 2.60の概要	8
ソフトウェアに関する変更 (Ver. 2.60)	8
メニュー項目に関する変更 (Ver. 2.60)	8
ファームウェア Ver.2.70の概要	9
ソフトウェアに関する変更 (Ver. 2.70)	9
操作方法に関する変更 (Ver.2.70)	9

ファームウェアの変更詳細について 10

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.05)	11
スクリーンタイプ/EDIDメニューの21:9対応	11
投写距離表に関する変更の詳細 (Ver.1.05)	12
オプション品に関する変更の詳細 (Ver. 1.07)	16
ELPLM08をサポート	16
IEC62471-5に基づく危険距離	16
メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.00)	17

リモコン種類	17
グループタイリング	17
エッジブレンディングの変更	18
シンプルブレンディング	18

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.00) 19

スタッキング&ブレンディング (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)	19
曲面補正機能 (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)	19
オプションの外付けカメラを使ったシンプルブレンディング (プロジェクターのメニューで調整するとき)	20

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.50) 22

映像アスペクト選択 (カメラアシストV150)	22
はみ出し投写 (カメラアシストV150)	22

ソフトウェアに関する変更の詳細 (Ver. 2.60) 23

Epson Projector Management	23
----------------------------------	----

メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver. 2.60) 24

EPMC監視制御	24
Monitor パスワード	24
コマンド通信	24
Crestron XiO Cloud	25

操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.70) 26

スタッキング (カメラアシストV200)	26
スクリーンマッチング (カメラアシストV200)	26
スタッキングが長焦点レンズに対応 (カメラアシストV200)	26
プロジェクターとの接続に使用するケーブル	26

付録 27

一般のご注意	28
ご注意	28
商標について	28
著作権について	28

更新ファームウェアについて

本製品は、プロジェクターの機能やパフォーマンスの向上を図り、定期的に新しいファームウェアを提供します。本章では、各バージョンのファームウェアで更新された機能の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ファームウェア Ver.1.05の概要」 [p.4](#)
- 「ファームウェア Ver. 1.07の概要」 [p.5](#)
- 「ファームウェア Ver.2.00の概要」 [p.6](#)
- 「ファームウェア Ver.2.50の概要」 [p.7](#)
- 「ファームウェア Ver. 2.60の概要」 [p.8](#)
- 「ファームウェア Ver.2.70の概要」 [p.9](#)

ファームウェア Ver. 1.05での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更 (Ver. 1.05)」 [p.4](#)
- 「投写距離表に関する変更 (Ver.1.05)」 [p.4](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver. 1.05)

本バージョンでは、Microsoft Teams Rooms対応に伴い、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

- [拡張設定] > [表示設定] > [スクリーン設定] > [スクリーンタイプ] に [21:9] を追加
- [映像] > [アドバンスド] > [EDID] に [3440×1440] と [2560×1080] を追加

▶ 関連項目

- 「スクリーンタイプ/EDIDメニューの21:9対応」 [p.11](#)

投写距離表に関する変更 (Ver.1.05)

本バージョンでは、投写距離表に以下の変更があります。

- [21:9] の表を追加

▶ 関連項目

- 「投写距離表に関する変更の詳細 (Ver.1.05)」 [p.12](#)

ファームウェア Ver. 1.07での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「オプション品に関する変更（Ver. 1.07）」 [p.5](#)

オプション品に関する変更（Ver. 1.07）

本バージョンでは、既存のオプション品に加えて、次のオプション品をサポートしています。

- レンズユニットELPLM08

▶ 関連項目

- 「ELPLM08をサポート」 [p.16](#)

ファームウェア Ver.2.00での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.00)」 [p.6](#)
- 「メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)」 [p.6](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.2.00)」 [p.6](#)

ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- Epson Projector Professional Tool Ver. 1.5

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

メニュー項目に関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

- [拡張設定] > [動作設定] > [アドバンスト] に [リモコン種類] が追加されます。
- [拡張設定] > [マルチプロジェクション] に [グループタイリング] を追加、[グルーピング]、[タイリング]、[表示倍率] のメニュー階層を変更
- [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [エッジブレンディング] の [エッジブレンディング] の設定項目を変更
- [拡張設定] > [マルチプロジェクション] に [シンプルブレンディング] が追加されます。

▶ 関連項目

- 「リモコン種類」 [p.17](#)

- 「グループタイリング」 [p.17](#)
- 「エッジブレンディングの変更」 [p.18](#)
- 「シンプルブレンディング」 [p.18](#)

操作方法に関する変更 (Ver.2.00)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- Epson Projector Professional Toolを使った投写画面の合成方法にスタッキング&ブレンディングが追加されます。
- Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面に加えて曲面にも対応
- オプションの外付けカメラを使って2台のプロジェクターの投写映像から横長の映像を作成

▶ 関連項目

- 「スタッキング&ブレンディング (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)」 [p.19](#)
- 「曲面補正機能 (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)」 [p.19](#)
- 「オプションの外付けカメラを使ったシンプルブレンディング (プロジェクターのメニューで調整するとき)」 [p.20](#)

ファームウェア Ver.2.50での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.50)」 [p.7](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.2.50)」 [p.7](#)

ソフトウェアに関する変更 (Ver.2.50)

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- Epson Projector Professional Tool Ver. 1.52

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

操作方法に関する変更 (Ver.2.50)

本バージョンでは、カメラアシストV150をサポートしています。

詳しくは以下を参照してください。

https://download2.ebz.epson.net/sec_pubs_visual/camera_assist/JA

▶ 関連項目

- 「映像アスペクト選択 (カメラアシストV150)」 [p.22](#)
- 「はみ出し投写 (カメラアシストV150)」 [p.22](#)

ファームウェア Ver. 2.60での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ソフトウェアに関する変更 (Ver. 2.60)」 [p.8](#)
- 「メニュー項目に関する変更 (Ver. 2.60)」 [p.8](#)

ソフトウェアに関する変更 (Ver. 2.60)

Epson Projector Management

取扱説明書の説明が更新されました。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Management」 [p.23](#)

メニュー項目に関する変更 (Ver. 2.60)

本バージョンでは、プロジェクターメニューに以下の変更があります。

- [ネットワーク] メニューに [EPMC監視制御] を追加
- [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] メニューに [Monitor/パスワード] を追加
- 取扱説明書の [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [コマンド通信] に関する説明を更新
- [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] メニューに [Crestron XiO Cloud] を追加

▶ 関連項目

- 「EPMC監視制御」 [p.24](#)
- 「Monitor パスワード」 [p.24](#)
- 「コマンド通信」 [p.24](#)
- 「Crestron XiO Cloud」 [p.25](#)

ファームウェア Ver.2.70での変更の概要を説明します。

▶ 関連項目

- 「ソフトウェアに関する変更 (Ver. 2.70)」 [p.9](#)
- 「操作方法に関する変更 (Ver.2.70)」 [p.9](#)

ソフトウェアに関する変更 (Ver. 2.70)

本バージョンでは、既存のソフトウェアに加えて、次のソフトウェアをサポートしています。

- Epson Projector Professional Tool Ver. 1.60

詳しくは『Epson Projector Professional Tool 操作ガイド』をご確認ください。

操作方法に関する変更 (Ver.2.70)

本バージョンでは、操作方法に以下の変更があります。

- 本バージョンでは、カメラアシストV200をサポートしています。詳しくは以下を参照してください。

https://download2.ebz.epson.net/sec_pubs_visual/camera_assist/JA

▶ 関連項目

- 「スタッキング (カメラアシストV200)」 [p.26](#)
- 「スクリーンマッチング (カメラアシストV200)」 [p.26](#)
- 「スタッキングが長焦点レンズに対応 (カメラアシストV200)」 [p.26](#)
- 「プロジェクターとの接続に使用するケーブル」 [p.26](#)

ファームウェアの変更詳細について

ファームウェアの変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.1.05)」 [p.11](#)
- 「投写距離表に関する変更の詳細 (Ver.1.05)」 [p.12](#)
- 「オプション品に関する変更の詳細 (Ver. 1.07)」 [p.16](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver.2.00)」 [p.17](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.00)」 [p.19](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.50)」 [p.22](#)
- 「ソフトウェアに関する変更の詳細 (Ver. 2.60)」 [p.23](#)
- 「メニュー項目に関する変更の詳細 (Ver. 2.60)」 [p.24](#)
- 「操作方法に関する変更の詳細 (Ver.2.70)」 [p.26](#)

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「スクリーンタイプ/EDIDメニューの21:9対応」 [p.11](#)

スクリーンタイプ/EDIDメニューの21:9対応

[拡張設定] メニューの [表示設定] > [スクリーン設定] > [スクリーンタイプ] に [21:9] を追加しました。[映像] メニューの [アドバンスド] > [EDID] に、21:9向けの設定値を追加しました。

Microsoft Teams Roomsでフロントローレイアウトを使ってビデオ会議を行うときに便利です。

変更前の設定メニュー (Ver. 1.00)

メニュー	設定値
スクリーンタイプ	4:3, 16:9, 16:10
EDID > 入力解像度	各種設定値

変更後の設定メニュー (Ver. 1.05)

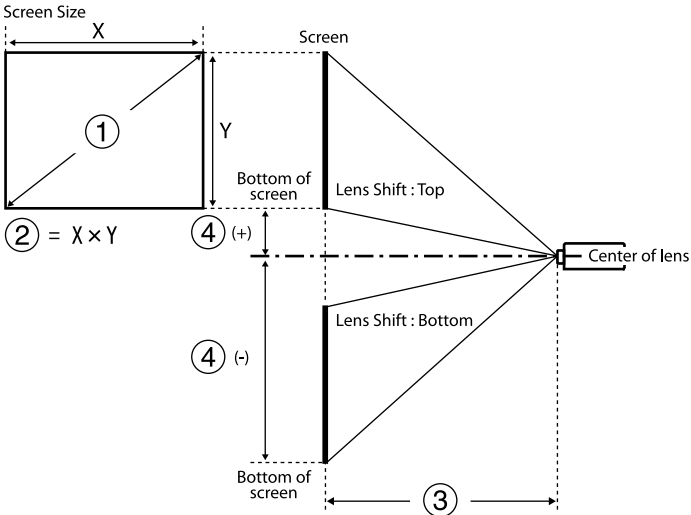
メニュー	設定値
スクリーンタイプ	4:3, 16:9, 16:10, 21:9
EDID > 入力解像度	変更前の設定値, 3440×1440, 2560×1080



[3440×1440] と [2560×1080] は、[EDIDプリセット] が [3480×2160/30Hz] に設定されているときのみ有効です。

スクリーンタイプを [21:9] に設定すると、[EDID] は自動的に [2560×1080/60Hz] に設定されます。

[スクリーンタイプ] を [21:9] に設定したときの投写距離表は以下のとおりです。



- ① スクリーンサイズ (インチ)
- ② スクリーンサイズ (幅×高さ) (cm)
- ③ 投写距離 (最短：ワイド～最長：テレ) (cm)
- ④ レンズ中心からスクリーン下端 (cm)

EB-PU2010B/EB-PU2010W：

21:9

①	②	③	④
型	幅×高さ	ELPLX02 ELPLX02S ELPLX02W ELPLX02WS	
98	229 × 98	79	15 - 51
100	233 × 100	80	16 - 52
120	280 × 120	97	19 - 63
150	350 × 150	122	23 - 78
200	467 × 200	164	31 - 104
300	700 × 300	248	47 - 156
400	934 × 400	332	63 - 208
500	1167 × 500	415	78 - 261
600	1401 × 600	499	94 - 313
800	1868 × 800	666	125 - 417
900	2101 × 900	750	141 - 469

①	②	③				
型	幅×高さ	ELPLU03 ELPLU03S	ELPLU02 ELPLU04	ELPLW05	ELPLW08	ELPLW04 ELPLW06
60	140 × 60	-	87 - 106	103 - 147	118 - 167	162 - 224
80	187 × 80	87 - 106	118 - 143	140 - 198	159 - 224	219 - 301
100	233 × 100	110 - 133	148 - 180	177 - 249	200 - 281	276 - 378

投写距離表に関する変更の詳細 (Ver.1.05)

13

①	②	③				
型	幅×高さ	ELPLU03 ELPLU03S	ELPLU02 ELPLU04	ELPLW05	ELPLW08	ELPLW04 ELPLW06
120	280×120	133 - 161	179 - 217	214 - 300	241 - 339	332 - 455
150	350×150	167 - 201	225 - 272	269 - 376	302 - 425	417 - 570
200	467×200	224 - 270	302 - 365	362 - 504	404 - 568	559 - 763
300	700×300	338 - 406	456 - 550	546 - 758	607 - 855	842 - 1148
500	1167×500	565 - 679	764 - 920	916 - 1268	1015 - 1428	1409 - 1917
800	1868×800	906 - 1089	1226 - 1475	1470 - 2032	1626 - 2287	2259 - 3072
900	2101×900	1020 - 1225	1380 - 1660	1655 - 2287	1830 - 2574	2542 - 3457

①	②	③				
型	幅×高さ	ELPLM09 ELPLM15 ELPLS04	ELPLM06 ELPLM10	ELPLM07 ELPLM11	ELPLL07 ELPLL08	ELPLR04
200	467×200	740 - 1200	1141 - 1743	1669 - 2541	2482 - 3481	330
300	700×300	1114 - 1804	1719 - 2620	2515 - 3824	3738 - 5238	499
500	1167×500	1862 - 3011	2873 - 4376	4208 - 6388	6252 - 8751	836
800	1868×800	2984 - 4823	4605 - 7010	6747 - 10235	10022 - 14021	1342
900	2101×900	3358 - 5427	5182 - 7888	7594 - 11518	11279 - 15777	1510

①	②	③				
型	幅×高さ	ELPLM09 ELPLM15 ELPLS04	ELPLM06 ELPLM10	ELPLM07 ELPLM11	ELPLL07 ELPLL08	ELPLR04
60	140×60	216 - 354	333 - 514	484 - 746	722 - 1022	95
80	187×80	291 - 475	449 - 689	653 - 1002	974 - 1373	128
100	233×100	366 - 596	564 - 865	823 - 1259	1225 - 1725	162
120	280×120	441 - 717	680 - 1040	992 - 1515	1476 - 2076	196
150	350×150	553 - 898	853 - 1304	1246 - 1900	1853 - 2603	246

①	②	④		
型	幅×高さ	ELPLR04	ELPLU03 ELPLU03S ELPLW05	ELPLU03/ ELPLU03S / ELPLW05/ELPLR04 以外
60	140×60	-30	-51 - -9 *	-83 - 23
80	187×80	-40	-68 - -12	-110 - 30
100	233×100	-50	-85 - -15	-138 - 38
120	280×120	-60	-102 - -18	-165 - 45
150	350×150	-75	-128 - -22	-206 - 56
200	467×200	-100	-170 - -30	-275 - 75
300	700×300	-150	-255 - -45	-413 - 113
500	1167×500	-250	-426 - -75	-688 - 188

①	②	④		
型	幅×高さ	ELPLR04	ELPLU03 ELPLU03S ELPLW05	ELPLU03/ ELPLU03S / ELPLW05/ELPLR04 以外
800	1868×800	-400	-681 - -119	-1101 - 301
900	2101×900	-450	-766 - -134	-1239 - 338

* ELPLU03/ELPLU03Sを除く。

EB-PU1008B/EB-PU1008W/EB-PU1007B/EB-PU1007W：

21:9

①	②	③	④
型	幅×高さ	ELPLX01 ELPLX01S ELPLX01W ELPLX01WS	
100	233×100	80	23 - 49
120	280×120	97	28 - 58
150	350×150	123	34 - 73
200	467×200	165	46 - 97
300	700×300	251	69 - 146
400	934×400	336	92 - 195
500	1167×500	421	115 - 243
600	1401×600	507	138 - 292
800	1868×800	677	183 - 389

①	②	③	④
型	幅×高さ	ELPLX01 ELPLX01S ELPLX01W ELPLX01WS	
900	2101×900	763	206 - 438

①	②	③				
型	幅×高さ	ELPLU03 ELPLU03S	ELPLU02 ELPLU04	ELPLW05	ELPLW08	ELPLW04 ELPLW06
50	117×50	-	99 - 121	118 - 168	135 - 191	187 - 255
80	187×80	121 - 146	163 - 196	194 - 272	219 - 308	303 - 414
100	233×100	152 - 183	205 - 247	244 - 342	275 - 387	380 - 519
120	280×120	183 - 220	247 - 297	295 - 411	331 - 465	458 - 625
150	350×150	230 - 276	310 - 373	370 - 516	415 - 583	574 - 783
200	467×200	308 - 369	415 - 499	496 - 689	555 - 779	768 - 1047
300	700×300	463 - 556	625 - 752	748 - 1037	835 - 1171	1156 - 1574
500	1167×500	774 - 929	1046 - 1257	1252 - 1732	1395 - 1955	1931 - 2629
800	1868×800	1241 - 1489	1676 - 2015	2008 - 2775	2235 - 3131	3094 - 4212
900	2101×900	1397 - 1675	1887 - 2267	2260 - 3122	2515 - 3523	3482 - 4739

①	②	③			
型	幅×高さ	ELPLM08	ELPLM09 ELPLM15 ELPLS04	ELPLM06 ELPLM10	ELPLM07 ELPLM11
50	117×50	166 - 269	248 - 403	383 - 585	556 - 851
80	187×80	269 - 433	402 - 650	620 - 943	904 - 1376
100	233×100	338 - 543	505 - 815	778 - 1183	1136 - 1726
120	280×120	406 - 652	607 - 979	936 - 1422	1368 - 2076
150	350×150	509 - 816	761 - 1226	1174 - 1780	1716 - 2601
200	467×200	680 - 1090	1017 - 1637	1569 - 2378	2296 - 3475
300	700×300	1023 - 1637	1530 - 2460	2361 - 3574	3456 - 5225
500	1167×500	1708 - 2732	2555 - 4105	3943 - 5965	5775 - 8724
800	1868×800	2736 - 4374	4093 - 6574	6317 - 9551	9255 - 13972
900	2101×900	3079 - 4921	4606 - 7396	7108 - 10747	10414 - 15721

①	②	③		④	
型	幅×高さ	ELPLL07 ELPLL08	ELPLR04	ELPLR04	ELPLR04以外
500	1167×500	8567 - 11953	1142	-250	-744 - 243
800	1868×800	13726 - 19143	1830	-400	-1190 - 389
900	2101×900	15446 - 21540	2060	-450	-1339 - 438

* ELPLU03/ELPLU03Sを除く。

①	②	③		④	
型	幅×高さ	ELPLL07 ELPLL08	ELPLR04	ELPLR04	ELPLR04以外
50	117×50	828 - 1167	109	-25	-74 - 24 *
80	187×80	1344 - 1886	178	-40	-119 - 39
100	233×100	1688 - 2365	223	-50	-149 - 49
120	280×120	2032 - 2845	269	-60	-178 - 58
150	350×150	2548 - 3564	338	-75	-223 - 73
200	467×200	3408 - 4762	453	-100	-297 - 97
300	700×300	5127 - 7159	683	-150	-446 - 146

新規のオプション品に関する詳しい内容を説明します。

▶ 関連項目

- 「ELPLM08をサポート」 [p.16](#)

ELPLM08をサポート

ファームウェアをVer. 1.07に更新すると、お使いのプロジェクターでレンズユニットELPLM08が使用できます。レンズユニットELPLM08の詳細については、『仕様一覧』を参照してください。

▶ 関連項目

- 「IEC62471-5に基づく危険距離」 [p.16](#)

IEC62471-5に基づく危険距離

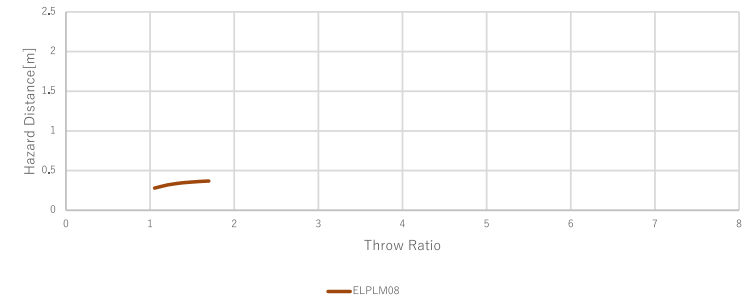
リスクグループ3に該当するプロジェクターと交換レンズを使用する場合は、目へのビームの直接被ばくを禁止します。作業者は障害距離内でのビームへの被ばくを管理するか、障害距離内での目への露光を避ける高さに製品を設置してください。

表中の距離より近づいてレンズをのぞき込むと視力障害などの原因となります。

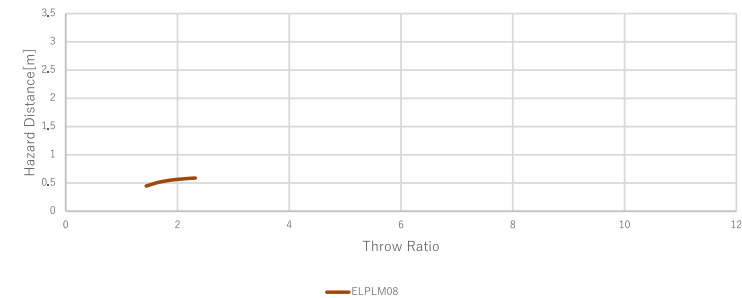
危険距離

モデル番号	EB-PU2010B/EB-PU2010W		EB-PU1008B/EB-PU1008W/ EB-PU1007B/EB-PU1007W	
投写レンズ	ワイド	テレ	ワイド	テレ
ELPLM08	0.279407	0.368156	0.446497	0.587820

EB-PU2010B/EB-PU2010W：



EB-PU1008B/EB-PU1008W/EB-PU1007B/EB-PU1007W：



メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- ・「リモコン種類」 [p.17](#)
- ・「グループタイリング」 [p.17](#)
- ・「エッジブレンディングの変更」 [p.18](#)
- ・「シンプルブレンディング」 [p.18](#)

リモコン種類

〔拡張設定〕 > 〔動作設定〕 > 〔アドバンスト〕 に〔リモコン種類〕が追加されます。

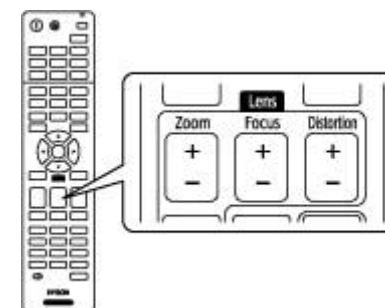
変更前の設定メニュー (Ver. 1.07)

メニュー	設定値
アドバンスト	確認音、インジケータ表示、ログ保存先、一括設定範囲、電源電圧監視、レンズタイプ

変更後の設定項目 (Ver. 2.00)

メニュー	設定値
アドバンスト	リモコン種類、確認音、インジケータ表示、ログ保存先、一括設定範囲、電源電圧監視、レンズタイプ

以下のようなエプソン製プロジェクターのリモコンを使ってズーム/フォーカス/ディストーションを調整するときは、〔リモコン種類〕を〔アドバンスト〕に設定します。



グループタイリング

〔拡張設定〕 > 〔マルチプロジェクション〕 に〔グループタイリング〕が追加され、〔グルーピング〕、〔タイリング〕、〔表示倍率〕のメニュー階層が変更されます。

変更前のマルチプロジェクションメニュー (Ver.1.07)

- ・〔拡張設定〕 > 〔マルチプロジェクション〕 > 〔グルーピング〕
- ・〔拡張設定〕 > 〔マルチプロジェクション〕 > 〔タイリング〕
- ・〔拡張設定〕 > 〔マルチプロジェクション〕 > 〔表示倍率〕

変更後のマルチプロジェクションメニュー (Ver.2.00)

- ・〔拡張設定〕 > 〔マルチプロジェクション〕 > 〔グループタイリング〕 > 〔グルーピング〕
- ・〔拡張設定〕 > 〔マルチプロジェクション〕 > 〔グループタイリング〕 > 〔タイリング〕
- ・〔拡張設定〕 > 〔マルチプロジェクション〕 > 〔グループタイリング〕 > 〔表示倍率〕

エッジブレンディングの変更

[拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [エッジブレンディング] の [エッジブレンディング] に以下の変更があります。

変更前のエッジブレンディングメニュー (Ver.1.07)

- 設定値は [オン] と [オフ] でした。
- [エッジ位置(上)] / [エッジ位置(下)] / [エッジ位置(右)] / [エッジ位置(左)] の [ブレンド範囲] は、プロジェクター解像度の45%まで範囲を指定できました。

変更後のエッジブレンディングメニュー (Ver.2.00)

- 設定値は [ブレンディング/黒レベル]、[黒レベル]、[オフ] です。
[ブレンディング/黒レベル] または [黒レベル] に設定すると、[エッジブレンディング] 機能が有効になります。
メディアサーバーなどの機器でブレンディングを調整するときは、[黒レベル] を設定します。[黒レベル] に設定すると、[マーカー表示]、[パターン表示]、[表示色] は選択できません。
マルチスクリーンで投写しないときは、[オフ] に設定します。
[エッジブレンディング] を [黒レベル] または [オフ] に設定すると、[エッジ位置(上)] / [エッジ位置(下)] / [エッジ位置(右)] / [エッジ位置(左)] の [ブレンド開始位置] / [ブレンド範囲] / [ブレンド曲線] は選択できません。
- [エッジ位置(上)] / [エッジ位置(下)] / [エッジ位置(右)] / [エッジ位置(左)] の [ブレンド範囲] は、プロジェクター解像度の70%まで範囲を指定できます。

シンプルブレンディング

[拡張設定] > [マルチプロジェクション] に [シンプルブレンディング] が追加されます。

[配置設定]

プライマリープロジェクターの位置を設定します。

[全体画面アスペクト]

結合後の画面のアスペクト比を設定します。

[自動調整開始]

外付けカメラを使って投写映像を自動で調整します。

[スクリーンマッチング]

投写画面ごとの色合いや明るさの違いを補正します。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「スタッキング&ブレンディング (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)」 [p.19](#)
- 「曲面補正機能 (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)」 [p.19](#)
- 「オプションの外付けカメラを使ったシンプルブレンディング (プロジェクターのメニューで調整するとき)」 [p.20](#)

スタッキング&ブレンディング (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)

Epson Projector Professional Toolを使った投写画面の合成方法にスタッキング&ブレンディングが追加されます。[幾何学歪み補正アシスト スタッキング&ブレンディング機能] ウィザードを使うと、複数のプロジェクターからの投写映像をつなげたり重ねたりして、ひとつなぎの大きな明るい映像を簡単に作成できます。

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。

- 1** Epson Projector Professional Toolを起動します。
- 2** [レイアウト/監視] タブでスタッキング&ブレンディングに対応しているプロジェクターをグループ化します。
- 3** [グループ作成] 画面で [ブレンディング・スタッキング設定] を選択します。
- 4** [ブレンディング・スタッキング設定] で、プロジェクターの位置を指定します。

- 5** [幾何学歪み補正アシスト スタッキング&ブレンディング機能] ウィザードを起動します。

必要に応じて、以下を行ってください。

- [スクリーンマッチング]：投写画面ごとの色合いや明るさの違いを補正します。
- [ポイント補正]：投写映像の画素ずれを調整します。

曲面補正機能 (Epson Projector Professional Toolで調整するとき)

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面に加えて曲面にも対応します。

変更前の投写画面の合成 (Ver.1.07)

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、平面のみに対応していました。

変更後の投写画面の合成 (Ver.2.00)

Epson Projector Professional Toolのカメラアシスト機能で投写画面を合成するとき、以下の機能も曲面に対応します。

- スクリーンマッチング (凸面は対応していません)
- カラーキャリブレーション
- ブレンディング
- スタッキング
- スタッキング & ブレンディング

詳しくは『Epson Projector Professional Tool操作ガイド』をご確認ください。



カメラアシスト機能で曲面に投写した映像を補正する場合は、次の内容を確認してください。

- グループ内のすべてのプロジェクターが曲面補正機能に対応していること
- 本ソフトウェアによる投写映像の自動調整を実行する前に、スクリーン全体に対するリニアリティーの位置を決めて、スクリーン上にリニアリティー調整の目印となるシールなどを貼り付けること
- リニアリティー調整用のシールは投写面に対して等間隔に貼り付けること
- [幾何学歪み補正アシスト] ウィザードの形状補正時に、補正ポイントの数と位置をリニアリティー調整用のシールに合わせる

オプションの外付けカメラを使ったシンプルブレンディング (プロジェクターのメニューで調整するとき)

オプションの外付けカメラを使って2台のプロジェクターの投写映像から横長の映像を作成できます。

この機能はオプションの外付けカメラを装着しているときのみ有効です。



シンプルブレンディングを実行するときは、以下の条件を満たすことを推奨しています。

- 各プロジェクターに外付けカメラを装着している
- 使用するすべてのプロジェクターが、電源オンから2分以上経過している
- そりやゆがみがない平面の拡散型のホワイトマットスクリーンを使用している
- 投写面に対してプロジェクターが平行に設置されている
- 外付けカメラや投写映像を遮っていない
- 全白画面を投写したときと全黒画面を投写したときのスクリーン面上の照度比が8:1以上である (スクリーン照度が40ルクス以下の場合、プロジェクター1台あたり、以下の投写サイズが推奨値)
 - 9.9Klmまで：50インチ～200インチ
 - 10Klm～14.9Klm：60インチ～300インチ
 - 15Klm～19.9Klm：70インチ～350インチ
 - 20Klm～24.9Klm：80インチ～400インチ
 - 25Klm～29.9Klm：90インチ～450インチ
 - 30Klm：100インチ～500インチ
- すべてのプロジェクターが同じ解像度である (スクリーンマッチング以外)
- [拡張設定] メニューの [設置モード] がすべてのプロジェクターで [フロント] または [フロント・天吊り] に設定されている

1 2台のプロジェクターをLANケーブルで接続します。

- 2** 両方のプロジェクターでネットワークメニューのDHCPが [オン] に設定されていることを確認します。



IPアドレスが有効になるまで約1分かかります。

- 3** [拡張設定] > [マルチプロジェクション] > [シンプルブレンディング] の順に選択し、【決定】ボタンを押します。必要に応じてもう一度【決定】ボタンを押します。

- 4** [配置設定] を選択して、[A1] または [B1] からプライマリプロジェクターの位置を指定します。

- 5** [全体画面アスペクト] 設定で結合後の横長画像のアスペクトを選びます。



[全体画面アスペクト] 設定では以下のアスペクトが選択できます。

- 21:9(EDID 3440x1440)
- 21:9(EDID 2560x1080)
- 16:6(EDID 2880x1080)
- 16:6(EDID 1920x720)
- 3:1(EDID 3240x1080)
- 32:10(EDID 3456x1080)
- 32:9(EDID 3200x900)

- 6** [自動調整開始] を開始します。

画面の指示に従って、各プロジェクターの投写位置を調整します。リモコンの【レンズシフト】ボタンまたは操作パネルの【レンズ】

ボタンを使って投写位置を調整しきれない場合は、各投写映像の色付き帯の部分が重なるようにプロジェクター本体を動かします。

- 7** 自動調整が終了したら、画面の指示に従って [形状補正] を行います。

- 8** [スクリーンマッチング] を実行します。



シンプルブレンディングがうまくできないときは、次の対処法を確認してください。

- プロジェクターが適切に設置され、LANケーブルで接続されていることを確認します。
- 外付けカメラが正しく装着され、プロジェクターと接続するケーブルが抜けていないことを確認します。
- 外付けカメラが故障している可能性があります。お買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。
- 補正環境の明るさが変化すると、シンプルブレンディングが正しく機能しないことがあります。強いスポット光や外光が入らないようにしてください。
- 投写サイズを適切に調整します。
- シンプルブレンディングを実行中にエラーメッセージが表示されたら、エラーコードを確認してください。
 - 0402：測定失敗
 - 0406：幾何学歪み補正エラー
 - 0407/0408：カメラエラー、または通信エラー

詳細はお買い上げの販売店またはお問い合わせ先に記載の連絡先にご相談ください。

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「映像アスペクト選択（カメラアシストV150）」 [p.22](#)
- 「はみ出し投写（カメラアシストV150）」 [p.22](#)

映像アスペクト選択（カメラアシストV150）

入力映像のアスペクト比が16:9の場合でも、Epson Projector Professional Toolの「幾何学歪み補正アシスト」が動作するようになります。

変更前（Ver. 2.00）

「幾何学歪み補正アシスト」は16:10のみ対応していました。

変更後（Ver. 2.50）

「幾何学歪み補正アシスト」の次の機能で、16:10に加えて16:9の映像アスペクトにも対応します。

- スタッキング
- ブレンディング（横方向のみ）
- スタッキング&ブレンディング（横方向のみ）

はみ出し投写（カメラアシストV150）

Epson Projector Professional Toolの「幾何学歪み補正アシスト」ウィザードが、はみ出し投写に対応しました。

投写対象エリアと隣り合う壁などに投写映像がはみ出している場合でも、投写映像の自動調整が可能です。

ソフトウェアに関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「Epson Projector Management」 [p.23](#)

Epson Projector Management

プロジェクター登録時の認証方法に関する取扱説明書の説明が更新されました。

変更前 (Ver. 2.50)

Epson Projector Management

Epson Projector Management (Windowsのみ) は、ネットワークに接続されたプロジェクターを監視、制御するためのソフトウェアです。詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』をご覧ください。

Epson Projector Managementは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

epson.jp/download



プロジェクター登録時の認証方法は、Epson Projector Managementのバージョンによって異なります。最良の結果を得るには、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用することをお勧めします。

変更後 (Ver. 2.60)

Epson Projector Management

Epson Projector Management (Windowsのみ) は、ネットワークに接続されたプロジェクターを監視、制御するためのソフトウェアです。詳しくは『Epson Projector Management操作ガイド』をご覧ください。

Epson Projector Managementは以下のWebサイトからダウンロードしてください。

epson.jp/download



プロジェクター登録時の認証方法は、Epson Projector Managementのバージョンによって異なります。

- Epson Projector Management Ver. 5.30、またはそれ以前：[Monitor パスワード]
- Epson Projector Management Ver. 5.40、またはそれ以降：[Web 制御パスワード]

最良の結果を得るには、最新バージョンのEpson Projector Managementを使用することをお勧めします。

▶ 関連項目

- 「コマンド通信」 [p.24](#)

メニュー項目に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「EPMC監視制御」 [p.24](#)
- 「Monitor パスワード」 [p.24](#)
- 「コマンド通信」 [p.24](#)
- 「Crestron XiO Cloud」 [p.25](#)

EPMC監視制御

「ネットワーク」メニューに「EPMC監視制御」が追加されました。

変更前の「ネットワーク」メニュー (Ver. 2.50)

設定項目なし。

変更後の「ネットワーク」メニュー (Ver. 2.60)

☛ 「ネットワーク」 > 「EPMC監視制御」

「EPMC監視制御」を「オン」にして必要な項目を設定すると、Epson Projector Connected Agentを介さずに、Epson Projector Management Connectedクラウドサーバーと直接通信できます。詳しくは『Epson Projector Management Connected操作ガイド』をご確認ください。

<https://www.projection-service.epson.com/pages/epm-connected/online-manual/web-front/JA/index.html>

Monitor パスワード

「ネットワーク」 > 「ネットワーク設定画面へ」 > 「基本設定」メニューに「Monitorパスワード」が追加されました。

変更前の「基本設定」メニュー (Ver. 2.50)

設定項目なし。

変更後の「基本設定」メニュー (Ver. 2.60)

☛ 「ネットワーク」 > 「ネットワーク設定画面へ」 > 「基本設定」 > 「Monitorパスワード」

Ver. 5.30、またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用するときや、スイッチャーやコントローラーと組み合わせてプロジェクターを監視するときの認証用パスワードを設定します。(デフォルトのパスワードは設定されていません。)

- 「コマンド通信」が「互換」のときに設定できます。
 - ☛ 「ネットワーク」 > 「ネットワーク設定画面へ」 > 「その他」 > 「コマンド通信」
- 「Monitorパスワード」はスイッチャーやコントローラーで使用するパスワードと一致させてください。
- 半角英数字、最大16文字で入力します (@以外の記号とスペースは使用不可)。

コマンド通信

取扱説明書の説明が更新されました。

変更前 (Ver. 2.50)

☛ 「ネットワーク」 > 「ネットワーク設定画面へ」 > 「その他」 > 「コマンド通信」

コマンド通信を行う際の認証方法を選択します。

プロテクト

ダイジェスト認証を用いて [Web制御パスワード] で認証を行うときに選択します。最新のEpson Projector Managementを使用してください。

互換

[Monitorパスワード] (半角英数字で16文字以内) を用いた平文認証を行うときに選択します。



Ver. 5.30、またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用するときや、スイッチャーやコントローラーを組み合わせるときは [互換] を選択してください。

変更後 (Ver. 2.60)

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [コマンド通信]

コンピューターやコントローラーなどの外部機器から、ネットワーク経由でプロジェクターとコマンド通信を行う際の認証方法を選択します。

プロテクト

ダイジェスト認証を用いて [Web制御パスワード] で認証を行うときに選択します。最新のEpson Projector Managementを使用してください。

互換

[Monitorパスワード] (半角英数字で16文字以内) を用いた平文認証を行うときに選択します。



- Ver. 5.30、またはそれ以前のEpson Projector Managementを使用するときや、スイッチャーやコントローラーを組み合わせるときは [互換] を選択してください。
- [Monitorパスワード] はスイッチャーやコントローラーで使用するパスワードと一致させてください。
☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [基本設定] > [Monitorパスワード]

Crestron XiO Cloud

[ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] メニューに [Crestron XiO Cloud] が追加されました。

変更前の [その他] メニュー (Ver. 2.50)

設定項目なし。

変更後の [その他] メニュー (Ver. 2.60)

☛ [ネットワーク] > [ネットワーク設定画面へ] > [その他] > [Crestron XiO Cloud]

[オン] にすると、Crestron XiO Cloudを使用してプロジェクターやその他のさまざまな機器の監視と制御ができます。複数の機器を一元的に管理することができます。詳細は以下をご覧ください。

<https://www.crestron.com/Products/Featured-Solutions/XiO-Cloud>

操作方法に関する変更の詳細を説明します。

▶ 関連項目

- 「スタッキング (カメラアシストV200)」 [p.26](#)
- 「スクリーンマッチング (カメラアシストV200)」 [p.26](#)
- 「スタッキングが長焦点レンズに対応 (カメラアシストV200)」 [p.26](#)
- 「プロジェクターとの接続に使用するケーブル」 [p.26](#)

スタッキング (カメラアシストV200)

Epson Projector Professional Toolの幾何学歪み補正アシスト スタッキング機能では、投写面タイプの追加と改善が行われました。

- スタッキング (カメラアシストV200) では、投写面タイプに [複雑面] が追加されました。ビル壁面などに投写する場合には [複雑面] を選択してください。
- すべての投写面タイプにおいて、設置性や操作性の向上を行いました。
 - 1台のカメラで実行可能。(レイヤー1にするプロジェクターに接続)
 - 外付けカメラを専用金具ではなく三脚に取り付けて、任意の場所にカメラを設置可能。
 - 自動調整の失敗を回避するために、カメラの撮影範囲を設定可能。
 - 自動調整の失敗を回避するために、自動調整中に投写する専用パターンの投写範囲を設定可能。

スクリーンマッチング (カメラアシストV200)

Epson Projector Professional Toolのスクリーンマッチング機能の操作性が改善されました。

- カメラアシストV200対応機種では、黒色補正の実行有無を選択できます。
- 黒色補正の調整パラメーターの中から適切な調整結果を選択できます。

スタッキングが長焦点レンズに対応 (カメラアシストV200)

Epson Projector Professional Toolの幾何学歪み補正アシスト スタッキング機能では、三脚に設置した外付けカメラ (ELPEC01) と、延長ケーブルを使用することで、長焦点レンズが使用可能になりました。

- ELP LL08

プロジェクターとの接続に使用するケーブル

プロジェクターとUSB機器の接続の際に、市販のUSB延長ケーブルなどを使用できるようになりました。

- 延長可能な長さは、市販のケーブルに記載された指示に従い設定してください。
- 市販のケーブルで通信距離を延長する場合は、事前に動作確認を十分に行い、お客様の責任においてご使用ください。
- 全ての市販のケーブルでの動作を保証するものではありません。

付録

次の点にご留意ください。

▶▶ 関連項目

- 「一般のご注意」 [p.28](#)

次の点にご留意ください。

▶ 関連項目

- 「ご注意」 [p.28](#)
- 「商標について」 [p.28](#)
- 「著作権について」 [p.28](#)

ご注意

1. 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
2. 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
4. 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
5. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者（「お問い合わせ先」参照）以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
6. エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品、交換部品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本書中のイラストや画面図は実際と異なる場合があります。

商標について

WindowsおよびMicrosoft Teamsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標、または登録商標です。

MacおよびmacOSは、Apple Inc.の商標です。

Crestron XiO Cloud[®]は、Crestron Electronics, Inc.の登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

ソフトウェアの著作権について：本装置は当社が権利を有するソフトウェアの他にフリーソフトウェアを利用しています。

著作権について

本書の内容は予告なく変更することがあります。

© 2022 Seiko Epson Corporation

Rev.04 2025.07 JA